

# 6月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和6年6月末現在〕

令和6年7月16日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「売上高」、「収益状況」のいずれも前月と比べ悪化となった。

業種別でも、全体と同様に製造業、非製造業ともに「景況」、「売上高」、「収益状況」のいずれも悪化となった。

エネルギーや原材料等の価格の高騰に対し、十分に価格転嫁ができず、収益状況が悪化しているとの報告が見られた。また、従業員確保に苦慮しているとの報告もあった。

## 景況DI

製造業は、前月比17.8ポイント悪化の▲45.8ポイント、非製造業は、前月比10.4ポイント減少の▲30.4ポイント、全体では、前月比14.3ポイント悪化の▲38.3ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比13.3ポイント悪化の▲33.3ポイント、非製造業は、前月比28.7ポイント悪化の▲8.7ポイント、全体では、前月比21.3ポイント悪化の▲21.3ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比13.5ポイント悪化の▲37.5ポイント、非製造業は、前月比6.1ポイント悪化の▲26.1ポイント、全体では、前月比9.9ポイント悪化の▲31.9ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食の提供回数が前年よりも減少している地域が多い。自治体の多くは炊飯システムを持っており、地場産米を活用している他、一部の自治体では県給食会と当組合の委託加工とは別に独自に参入している業者からパン給食を提供しているところもあり、ますます厳しい現状に拍車をかけている。
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県5月の清酒課税移出数量は、対前年同月比98.5%であった。本格焼酎は、同83.6%であった。清酒は普通酒が同80%と大きく落ちたが、高級酒である吟醸酒や純米酒の特定銘柄酒は同103%と増加した。 普通酒については家飲みでは灘伏見の大手酒蔵のバック酒に乗り換えられ、居酒屋では日本酒離れが進んでおり、今後地酒の復活は難しく思われる。日本酒ファンは美味しい高級酒にシフトしており、量より質での飲み方が定着してきている。 ○県内当業界について 5月末に今年の全国新酒鑑評会の入賞結果が発表になった。全国新酒鑑評会は国税当局が明治時代より行っている権威のあるコンクール（広島酒類総合研究所にて審査を行う）で、茨城からは昨年と同数の10蔵が入賞した。但し、そのうち金賞が3蔵と10年振りの低成績であった。地方の中小の酒蔵は品質で勝負していくほかに生き残る道は無く、今年金賞入賞数は組合としても危機感を持っている。金賞の酒が売れるのではなく、金賞をとれる製造技術があることが重要となる。
	納豆	納豆製造業者各社は値上げのタイミングを見ている状況である。特に大手メーカーの動向を見て価格改定を行うタイミングを考えている。安易な値上げは、販売数の減少を招き、その結果工場稼働率の低下から原価の上昇につながる恐れがある。 今年の最低賃金の値上げ幅について、懸念している会社が多い。価格転嫁が十分に進んでいないなかでの大幅な賃金上昇は、中小零細企業にとって利益圧迫になり、経営状況の悪化が予想される。人手不足の状況が続いている。
	菓子	原材料費の上昇が続いていることから販売価格を値上げした。しかし、十分に価格転嫁できている状況ではなく、収益が悪化している。 販売価格を値上げしたこともあり、販売数量が伸びず、製造個数は減少した。
	漬物	今年の梅の収穫は、暖冬による早期開花と開花期間中の低温の影響でミツバチの活動が鈍り、受粉不良となったため不作となった。今後、梅干し製造の企業に影響が出ると思われる。春大根も天候の影響で品質が悪く不作である。 白菜も高騰しており、浅漬け、キムチ製造企業に影響がある。 異常気象による農産物の不作が、これからも続くと思われるので、漬物製造企業には、より一層の経営努力が求められる。
繊維工業	県北地区外衣シャツ	従業員の確保に苦慮している。 受注量が減少し、資金繰りが悪化している。
木材・木材製品	製材	国産材製品は荷動きが悪く、製品価格も弱保合で推移した。 外材も荷動きが悪く、価格は保合で推移した。 原木は荷動きが良く、価格は弱保合で推移した。
	県北地区プレカット	月間加工坪数は目標の90%達成。7月加工予定は、ほぼ空きがなく埋まっている状況で20棟前後を予定。 木材価格は先月に引き続き横ばいで推移している。
紙・紙加工品	段ボール	前年と比較した生産数量は、大企業で5%減、中小企業では10%減となっており、収益状況も悪化している。 そのような状況の中、材料メーカーより材料の値上げの話がでており先行きが心配である。 これから世の中は夏休みなどがあり色々な物が動き出す時期なので、今後期待したい。
印刷	総合印刷	業況は前年同月と比較して特に変化がなく、固定客からの定例的な受注で作業現場を稼働させている状況である。
窯業・土石製品	コンクリート製品	輸送費が高騰している影響で景況が悪化している。
	陶磁器	今年も前年と比較して特に景況などに変化はなかった。 秋のイベントに向けて準備を進めていきたい。 多くのお客様にお越しいただくために、様々な企画を考案中である。

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	鉄鋼・金属	鉄鋼 8月の売上高は、各会社によって差があるが、平均して前年より10～15%程度減少した。取引先各社の生産量の減少が要因である。 燃料費・電気代・材料費等の値上げが影響し、収益等が悪化している。 現在の業界の景況は悪化しており、今後の景気上昇に期待したい。
	一般機器	生産用機械 対象7組合員（製造会社）の売上状況は、前年同月比で1社増加、7社減少の全体増減率は73%であった。 団地全体の売上高は、主要取引先からの受注の減産状況が続いていることを主要因として、4ヶ月連続で前年同月比で減収となっているが、前月比では増加している。 また、団地全体の従業員数は、派遣社員数が減少しているため前年同月比で大幅に減少した。
	輸送用機器	県北地区自動車部品 売上高は横ばいで推移している。受注価格は諸材料価格の高騰を踏まえ取引先と交渉しているが、厳しい状況である。
非 製 造 業	卸売業	生鮮魚介 精算所取扱高は前年同月比で99%。 商品単価は上昇しているが、鮮魚関係の入荷が減少した為、取扱高は減少し、取扱数量も大きく減少した。 7月は土用の丑の日など、各種イベント等の開催を控えており、今後の動向に期待している。
		米麦 米価上昇が続いているが、取引先への販売量が増加しており、在庫数量が減少している。
		袋セメント 袋セメントの6月出荷数量は、28千袋、前年同月比74.5%の実績となった。 民間工事において、工法の変化や工事の長期化等の影響から需要が減少している。さらに量販店ノンブランド品との価格差拡大により競合が激化し、売上高は減少した。
	小売業	鹿行地区共同店舗 今月は特にイベント等は行わなかったが、ほとんどの店舗が売上高・来客数ともに前年の100%以上であった。 雨天時は来客数が少ないものの、今月はそれほど大きな影響はなかった。
		家電 夏商戦に向けて、エアコンは気温上昇や夏場の猛暑予想も影響し堅調であるが、冷蔵庫や洗濯機はやや苦戦しており、売上高としては減少傾向である。6月も諸物価高騰の影響で家電の買い替えをされるお客様が少なく、厳しい状況となっている。
		燃料 国の燃料油価格激変緩和策により燃料油価格は抑えられているものの、レギュラーガソリンの平均価格は170円を超えており、前年同月に比べ約3円/ℓ高くなっている。 岸田首相は6月21日の記者会見で、燃料油価格激変緩和策の事業期間を「年内に限り継続」と明言する一方具体的な内容については早急に与党と調整することを発表し、事業が継続されたことには安堵したが、今後の動向には注視する必要がある。 現在、人手不足が深刻化しており、事業承継が出来ず店舗閉鎖を余儀なくされるケースも出ている。 外国人採用やスキマバイト等には課題もあり問題解消には至っていない。 人件費確保や物価上昇に対し各自採算販売の徹底を促しているが、元売販売子会社や県外大手の販売価格に地元事業者もある程度追随する必要があり、経営状況は厳しい状況にある。
		二輪自動車 製造元からの車両の入庫が少なく在庫分を販売しているため資金繰りは好転している。
		スポーツ用品 市内中学校の統合により、部活動の入部者は減少し、その影響で売上高も減少すると思われるが、地域移行により厳しい練習を行う部活が減少したことで、未経験者が入部し部員が増加した学校もある。厳しい練習を求める生徒は地域スポーツクラブへ、そうでない生徒は中学校で部活動を行うといったスポーツの二極化が進んでいる状況である。
		中古自動車 中古自動車小売店の販売価格は、前年同月比で3.3%減少、販売台数も同15.0%減少したため、売上高は同17.9%と大幅に減少した。また、中古自動車の流通市場は、円安の影響で輸出市場が活発化しているため、流通価格が高騰するとともに、国内販売の中古自動車が不足している。
野菜・果実 6月は取扱高が野菜果物合計で対前年比98.3%となった。 5月から引き続きキャベツ、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ等、多くの品目が高値で推移していたが、中旬頃からは安値に転じた。 また、組合員の中で当市場で購入し、他の市場に販売している転送業を主としている事業者の買上が大きく伸びた月となった。		

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	商店街	<p>ひたちなか</p> <p>昔からの店舗が閉店する一方、美容室や飲食店等の新規出店が増えるなど、商店街の様相も変わってきている。</p>
		<p>水戸</p> <p>人手不足が続いている。また、原材料費の高騰などの影響から業況は悪化している。</p>
		<p>筑西</p>
非製造業	サービス業	<p>自動車整備</p> <p>組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車(91.7%)・軽自動車(91.7%)と共に減少となった。原油価格、電気代等の高騰により、収益面での悪化が懸念される。</p>
		<p>旅館、ホテル</p> <p>6月は4、5月と比べ、イベントの減少や団体客等の減少(オンライン研修の普及による社員研修の減少)などにより集客が少ない状況であり、集客地域は県内及び関東の地域が多くを占めた。インバウンドについては台湾や東南アジアからの来県が多かったが、宿泊需要の増加は見られなかった。</p>
	建設業	<p>鹿行地区建設</p> <p>建設業界では2024年4月より時間外労働の上限規制が適用され、時間外労働の削減に取り組む必要があり、週休二日制の推進やデジタル化を活用した効率化が求められている。</p>
	運輸業	<p>軽貨物自動車</p> <p>令和6年6月の組合員数は100名。車両台数は129台で前月と比較して組合員が2名増加、車両は2台増加である。また、運送売上高については前年同月比84.1%であった。</p>
	<p>一般貨物自動車</p> <p>運転手の時間外労働の上限規制の適用により、運送方法(リレー方式等)の変更に伴って、車両不足が懸念されたが、現状では発送物量も減少しており車両不足には至っていない。輸送運賃については値上げされたものの、売上高は作業減・単価UPでほぼ横ばい。一方、人件費や燃料価格などの経費は上昇しており、収益は厳しい状況が続いている。</p>	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食回数増
	納豆	最低賃金の引上げ幅については、中小零細企業の価格転嫁の状況を勘案して慎重に審議していただきたい。
小売業	燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>揮発油に課税している二重課税の廃止</li> <li>燃料油価格激変緩和策の継続と出口戦略の明確化</li> <li>物価上昇、円安への対策</li> </ul>
サービス業	旅館、ホテル	スポーツイベントや地域イベント等を増やし、県外からの宿泊需要を増やしてほしい。
建設業	鹿行地区建設	公共工事の発注件数の増加

月次景況調査 6月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比
景 況	▲ 38.3	▲ 24.0	▲ 14.3	▲ 45.8	▲ 28.0	▲ 17.8	▲ 30.4	▲ 20.0	▲ 10.4
売 上 高	▲ 21.3	0.0	▲ 21.3	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 13.3	▲ 8.7	20.0	▲ 28.7
収 益 状 況	▲ 31.9	▲ 22.0	▲ 9.9	▲ 37.5	▲ 24.0	▲ 13.5	▲ 26.1	▲ 20.0	▲ 6.1
販 売 価 格	23.4	40.0	▲ 16.6	12.5	16.0	▲ 3.5	34.8	64.0	▲ 29.2
取 引 条 件	▲ 12.8	▲ 18.0	5.2	▲ 16.7	▲ 20.0	3.3	▲ 8.7	▲ 16.0	7.3

## 中小企業月次景況調査(令和6年6月)DI値(前年同月比)

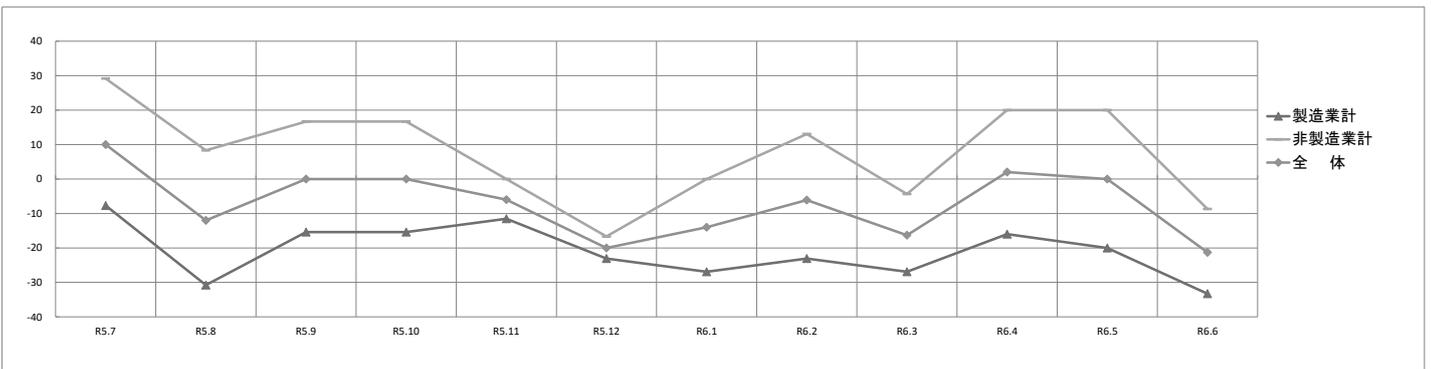
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)																
		増加	不変	減少		業界数	増加	不変		減少	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化		業界数	好転	不変		悪化	業界数	上昇		不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数						
製造業	食料品	△ 42.9	0	4	3	7	△ 14.3	0	6	1	7	42.9	3	4	0	7	△ 28.6	0	5	2	7	△ 42.9	0	4	3	7	△ 42.9	0	4	3	7	△ 28.6	0	5	2	7	△ 14.3	0	6	1	7	△ 42.9	0	4	3	7
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	木材・木製品	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	0	3	2	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	輸送機器	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
製造業計	△ 33.3	1	14	9	24	△ 16.7	0	20	4	24	12.5	5	17	2	24	△ 16.7	1	18	5	24	△ 37.5	0	15	9	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 20.8	0	19	5	24	△ 45.8	0	13	11	24	
非製造業	卸売業	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3					0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	
	小売業 (商店街含む)	18.2	4	5	2	11	△ 18.2	1	7	3	11	18.2	5	3	3	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 18.2	1	7	3	11	△ 9.1	1	8	2	11					△ 18.2	1	7	3	11	△ 36.4	0	7	4	11	
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	建設業	0.0	1	3	1	5					60.0	3	2	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5					△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運輸業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2					△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2		
	非製造業計	△ 8.7	5	11	7	23	△ 21.4	1	9	4	14	34.8	11	9	3	23	△ 8.7	0	21	2	23	△ 26.1	1	15	7	23	△ 13.0	1	18	4	23					△ 21.7	1	16	6	23	△ 30.4	0	16	7	23	
全体	△ 21.3	6	25	16	47	△ 18.4	1	29	8	38	23.4	16	26	5	47	△ 12.8	1	39	7	47	△ 31.9	1	30	16	47	△ 19.1	1	36	10	47	△ 25.0	0	18	6	24	△ 21.3	1	35	11	47	△ 38.3	0	29	18	47	

## D I 値推移表 (R5. 7月 ~ R6. 6月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5	R6. 6
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	33.3	16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	16.7	▲ 42.9	▲ 14.3	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 30.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 5.6	▲ 22.2	▲ 71.4
製造業計	▲ 7.7	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 33.3
卸売業	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	▲ 66.7	33.3	100.0	66.7	100.0	0.0	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	16.7	16.7	33.3	0.0	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	15.4	46.2	18.2
サービス業	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
建設業	20.0	▲ 40.0	40.0	40.0	▲ 20.0	0.0	40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0
運輸業	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	100.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	29.2	8.3	16.7	16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	13.0	▲ 4.3	20.0	20.0	▲ 8.7
全体	10.0	▲ 12.0	0.0	0.0	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 14.0	▲ 6.1	▲ 16.3	2.0	0.0	▲ 21.3

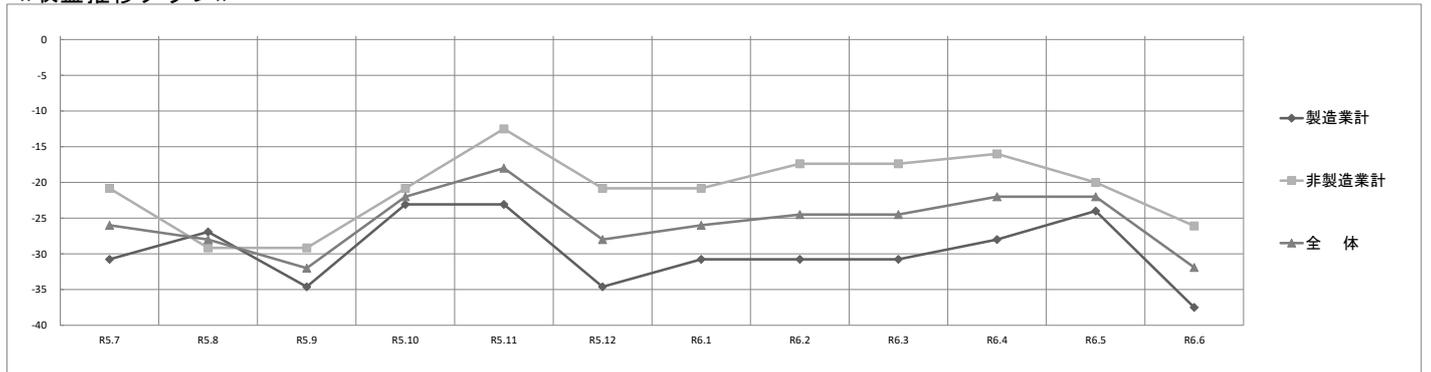
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5	R6. 6
食料品製造業	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 45.0	▲ 27.8	▲ 22.2	▲ 35.2
製造業計	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 37.5
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 16.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 18.2
サービス業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 26.1
全体	▲ 26.0	▲ 28.0	▲ 32.0	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 26.0	▲ 24.5	▲ 24.5	▲ 22.0	▲ 22.0	▲ 31.9

### 《収益推移グラフ》

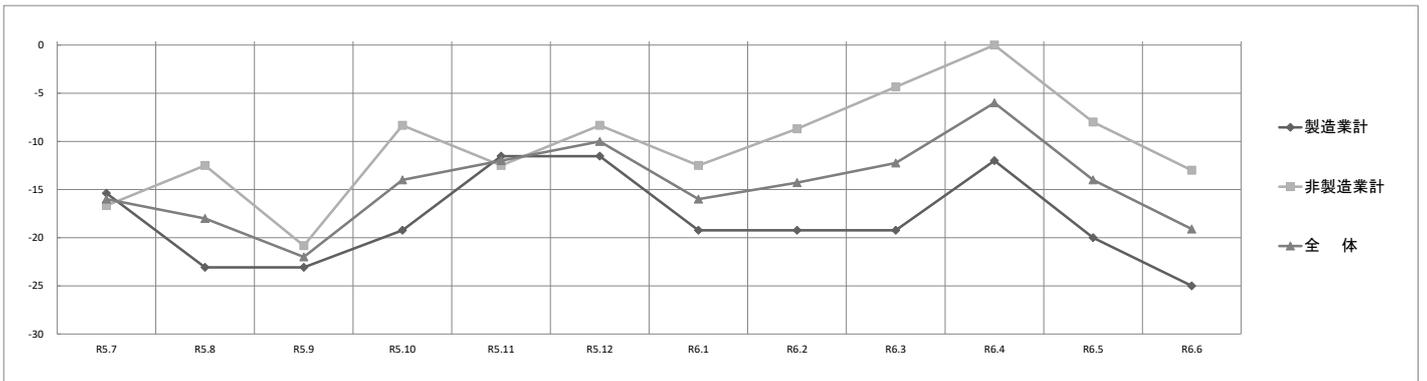


## D I 値推移表 (R5. 7月 ~ R6. 6月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5	R6. 6
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 17.6
製造業計	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 25.0
卸売業	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 9.1
サービス業	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 4.3	0.0	▲ 8.0	▲ 13.0
全体	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 22.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 16.0	▲ 14.3	▲ 12.2	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 19.1

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5	R6. 6
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 66.7	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 47.0
製造業計	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 20.0	▲ 28.0	▲ 45.8
卸売業	0.0	▲ 33.3	▲ 66.7	0.0	0.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 36.4
サービス業	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	4.2	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 21.7	▲ 34.8	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 30.4
全体	▲ 18.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 22.0	▲ 12.0	▲ 26.5	▲ 32.7	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 38.3

### 《景況推移グラフ》

